

地域医療支援センターに係る情報交換会

平成25年7月22日(月)

当日アンケート結果 (上位5位)

順位	都道府県	事業名	頁
1位	三重県	修学資金貸与者に対する後期研修プログラム	2
2位	静岡県	専門医研修ネットワークプログラムの策定	8
3位	宮崎県	地域総合医育成サテライトセンター運営	10
4位	岐阜県	医師育成(地域医療機関への派遣)	12
5位	千葉県	千葉県医師キャリアアップ就職支援センター医療技術研修事業	15

三重県 修学資金貸与者に対する後期研修プログラム

(事業概要)

(概要)

・医師修学資金貸与者(24年度末現在 累計348名)の初期臨床研修修了後の県内勤務の開始が、今後ますます増加する状況にあることから、これら若手医師の県内定着・キャリア形成支援と医師不足病院の医師確保の支援を一体的に行う仕組みづくりとして、地域の医療機関と中核病院をローテーションしながら専門医資格を取得できる後期臨床研修プログラムの作成を進めている。

・現在、総合内科、外科、家庭医療(総合診療)、救急科の各プログラムの暫定版を作成し、医師修学資金貸与者等へ周知しており、今後は、その他15基本領域のプログラムの作成を進めていくこととしている。

(作成プロセス)

- ①地域医療支援センター運営協議会
・キャリア支援方策、プログラムの基本条件等の承認
- ②三重大学医学部附属病院科長会
・関係各教授へのプログラム作成協力依頼
- ③MMC卒後臨床研修センター理事会
・県内研修病院へのプログラム参加協力依頼
- ④各医局、中核病院への個別説明
・各医局への個別説明、プログラム作成代表者選任依頼
・中核病院への個別説明
- ⑤内科、外科ワーキンググループ
・複数の講座にまたがる総合内科、外科プログラムについては、各講座より代表者を出してもらいワーキンググループを設置し、共同してプログラム内容を検討
- ⑥地域医療支援センター運営協議会キャリア形成支援専門部会
・プログラム内容を専門的知識及び経験に基づきチェックする機関として、運営協議会の中に、地域の医療関係者からなる「キャリア形成支援専門部会」を設置し、プログラム内容をチェック
- ⑦地域医療支援センター運営協議会
・専門部会の審議内容を報告のうえ、プログラムを承認
- ⑧修学資金貸与者、各医療機関への周知
・修学資金貸与者へのプログラム周知
・各関係病院へのプログラム周知及び参加協力依頼

(特徴)

・日本専門医制評価・認定機構の認定する18の基本領域＋総合診療医の19の基本領域を対象とする。

・大学と各病院がそれぞれ作成するのではなく、基本領域ごとに、大学と各病院が共同して作成する。

・総合内科、外科のプログラムについては、三重大学の関係講座(各4講座)からの代表者で協議のうえ、共同して一つのプログラムを作成した。

・複数の医療機関をローテーションし、そのうち1ヶ所(1年以上)は医師不足地域の医療機関を含めることを基本としている。

・見直しが進められている新たな専門医制度の養成プログラムの基準が示された後は、作成された支援センタープログラムを適宜修正していくこととしている。

(参考)プログラム基本条件

- 卒後10年以内に、基本領域の専門医資格を取得することができるプログラムとする。
 - 基本領域とは、日本専門医制評価・認定機構の認定する18の基本領域＋総合診療医とする。
 - 基本領域ごとに、三重大学と各病院が共同して作成する。
 - 後期臨床研修は、原則として、三重県における複数の医療機関で行う。ただし、県が指定する医師不足地域又はへき地の医療機関(*)以下「支援医療機関」という。)を含む。
※ 津市(旧美杉村の区域)、松阪市(旧飯南町、飯高町の区域)、鳥羽市、志摩市、尾鷲市、熊野市、伊賀市、名張市、南伊勢町、大紀町、大台町、多気町、紀北町、御浜町、紀宝町に所在する医療機関及び三重県地域医療支援センターがこれらに相当すると認める医療機関
 - 支援医療機関が、取得をめざす専門医資格の認定を行う学会の研修施設等でない医療機関であっても、三重県の地域医療を学ぶ観点から、当該医療機関においても、研修を行うことができるよう努める。
 - 海外又は三重県外の機関において、後期臨床研修を行う場合は、その期間を通算して2年以内とする。
 - 一つの医療機関での研修期間は1年以上とする。
 - 一つの医療機関に所属したまま、当該医療機関からの派遣による方法でも差し支えない。
 - 以上の基本条件と医師の地域偏在を解消する観点から、キャリア形成支援専門部会の審査を受ける。
 - なお、初期臨床研修を行う医療機関は、三重県内の基幹型臨床研修病院の中から、マッチングにより決定する。
- 注)各学会の専門医資格取得要件等により、上記の条件を満たすことができない場合は、基本条件を変更することができるものとする。

(選定理由(抜粋))

19の基本領域で、医師のキャリアパスを考えつつ地域偏在を解消するためのローテーションを県・大学・医療機関で考えている

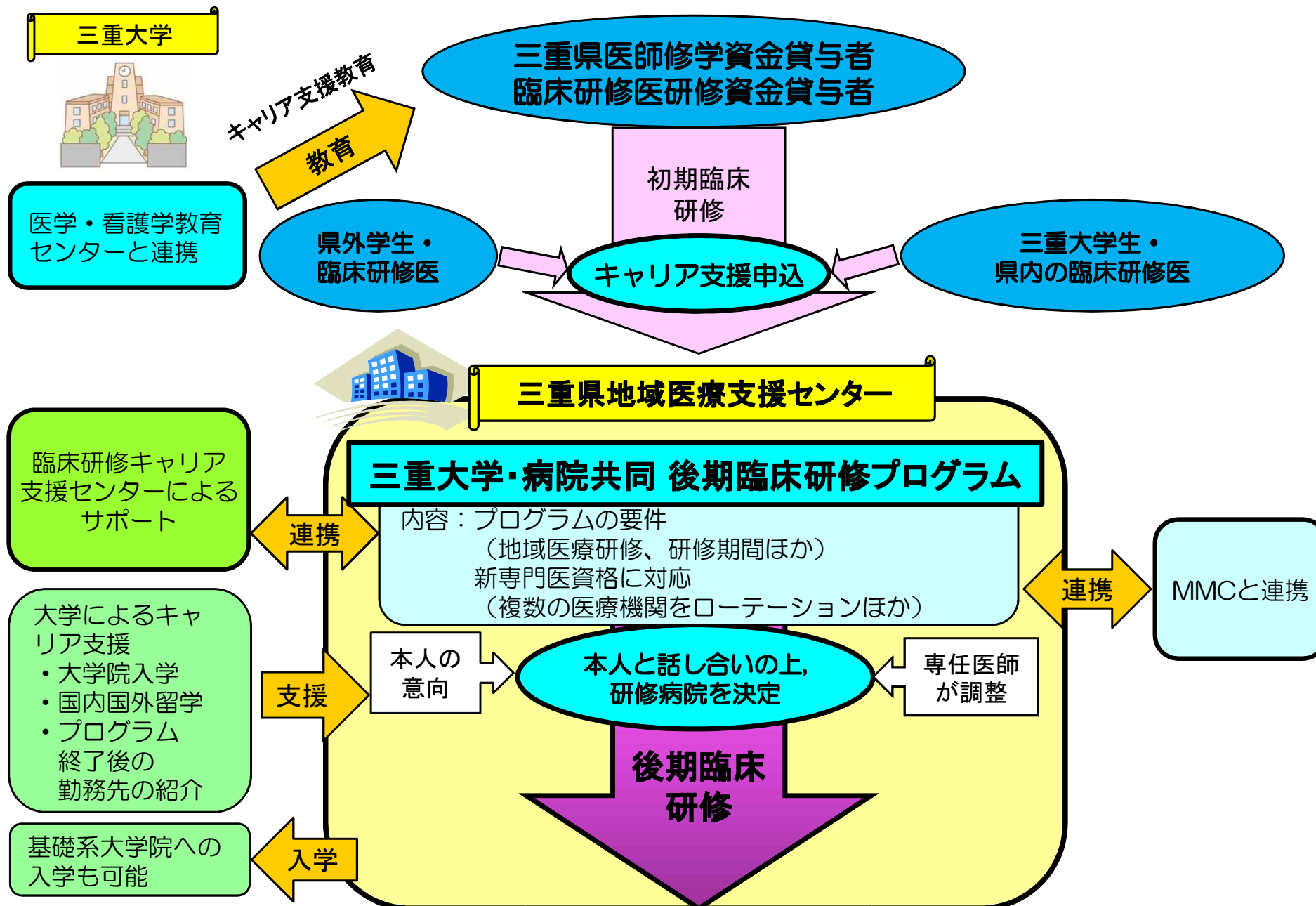
医師のキャリア形成支援のためには後期研修プログラムの充実が重要になってくると思われる

今後の新制度を見据えた素晴らしい取組である

義務年限内に専門医を取得するという仕組み作りの視点は大切

大規模病院と医師不足病院とのローテーションが考慮されている

三重県地域医療支援センターのキャリア支援について



後期臨床研修プログラム(イメージ)

後期臨床研修プログラムのイメージ【〇〇専門医】

※県内勤務医コース(卒後県内10年間勤務)

卒後	1～2年目	例	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目～10年目	
勤務 医療 機関	初期 臨床 研修	専門医資格を取得するための研修					◎ 専門医試験受験	専門医資格を取得するための研修修了後	
		ローテーション 基準	1. 三重大病院に加え、中核医療機関群及び研修医療機関群から1ヶ所以上ずつ選択(※1) 2. 1ヶ所の研修期間は1年以上 3. 研修時期は、研修医の意向を踏まえ調整					<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医として県内の救急告示病院等で勤務 ・サブスペシャリティ専門医資格の取得 ・大学院入学(研究のみは上限2年間) ・国内外留学 等 	
4ヶ所×各1年	「大・中規模 医療機関群」 の医療機関(※2)	「小規模 医療機関群」 の医療機関	「県が指定する 医療機関群」 の医療機関	「三重大学医学部 附属病院」					

※1 地域医療支援センター専任医師が、本人の意向を確認し、医療機関と調整のうえ決定。

※2 各学会が認定する「教育病院」「教育関連病院」等以外の医療機関での勤務も可能。ただし、専門医資格の取得までの期間がその分長くなる。

三重大学医学部附属病院

専門医資格取得及び先進医療の研修

大・中規模医療機関群

専門医資格取得の研修

三重大学医学部附属病院、「県が指定する医療機関群」を除く、各学会認定の「教育病院」等である県内の医療機関

小規模医療機関群

専門医資格取得の研修

三重大学医学部附属病院、「県が指定する医療機関群」を除く、各学会認定の「教育関連病院」等である県内の医療機関

県が指定する医療機関群

専門医資格取得及び地域医療の研修

津市(旧美杉村の区域)、松阪市(旧飯南町、飯高町の区域)、鳥羽市、志摩市、尾鷲市、熊野市、伊賀市、名張市、南伊勢町、大紀町、大台町、多気町、紀北町、御浜町、紀宝町に所在する医療機関及び三重県地域医療支援センターがこれらに相当すると認める医療機関

三重県地域医療支援センター後期臨床研修プログラムの特徴

○三重大学の各講座（医局）と共同して作成するプログラムです。

総合内科、外科のプログラムについては、関係する複数の講座（医局）の協力のもと、統一して作成したプログラムとなっています。

○三重県医師修学資金貸与者（貸与者累計348名、H25.5現在）、臨床研修医研修資金貸与者（貸与者累計28名、H25.5現在）等を対象として、作成したプログラムの案内を行い、プログラムに基づく後期臨床研修を促していきます。

※次ページのグラフ参照

○19の基本領域（総合診療医含む）の専門医資格が取得できるプログラムの作成を進めています。

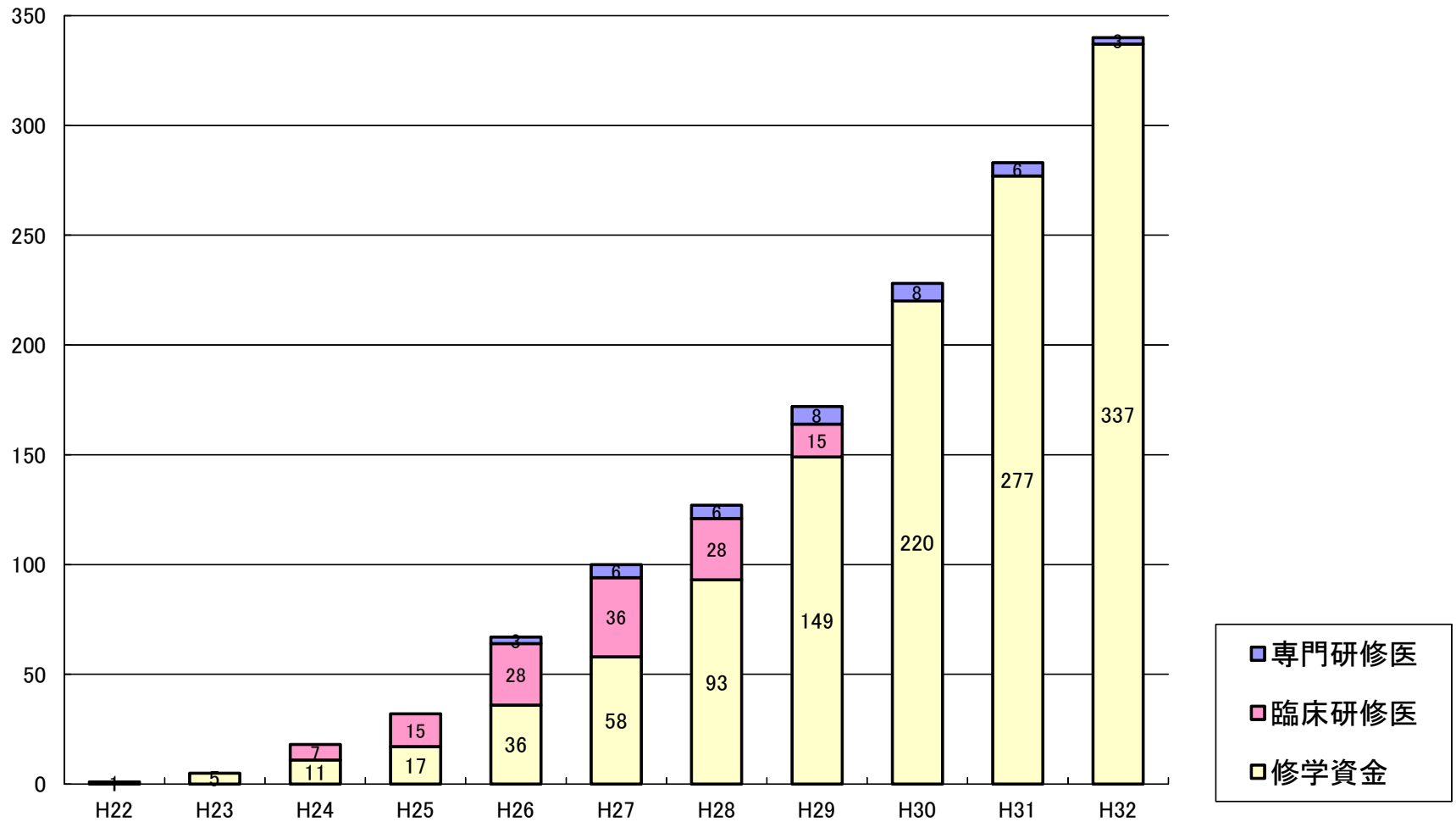
○医師不足地域及びへき地の医療機関（※）を含む、複数の医療機関をローテーションするプログラムとしています。

※津市（旧美杉村の区域）、松阪市（旧飯南町、飯高町の区域）、鳥羽市、志摩市、尾鷲市、熊野市、伊賀市、名張市、南伊勢町、大紀町、大台町、多気町、紀北町、御浜町、紀宝町に所在する医療機関及び三重県地域医療支援センターがこれらに相当すると認める医療機関

○キャリア支援申込のあった修学資金貸与者等の意向を踏まえ、各病院と調整のうえ、プログラム対象の病院群の中から研修病院を決定します。

修学資金等義務勤務開始者数(見込み)

(人)



※H25.4月末までの返還者を除く

※研修医・専門医研修資金のH25年度の新規貸与見込みについては、臨床研修医15名に2年間、専門研修医3名に4年間貸与すると仮定して積算

プログラムに基づく後期臨床研修病院の決定について

決定手順

①研修医の意向確認

- ・ 地域医療支援センターが本人と面談を実施し、プログラムの病院群の対象医療機関の中から、希望する医療機関と勤務希望の時期を選択する。

②医療機関との調整

- ・ 地域医療支援センターにおいて、希望の医療機関と調整を行う。

③採用面接等

- ・ 医療機関において、採用面接等を実施。

④採用

各病院へのお願い

- ・ プログラムで定める研修期間、常勤医としての採用をお願いします。
- ・ 身分、給与等の処遇は、各病院の規定に基づきます。
- ・ 研修内容については、各学会のカリキュラムを踏まえ、研修医の到達状況に応じて対応いただくようお願いします。

静岡県 専門医研修ネットワークプログラムの策定

(事業概要)

1 背景

・本県には、県西部に浜松医科大学があるものの、人口当たり医学部定員が全国第45位と大幅に少なく、他県の大学からの医師派遣が行われている。このような背景から、より多くの医師に県内定着してもらうには、後期研修医に対して魅力的な研修プログラムを提供することが必要であるという機運が高まり、県内の複数病院が連携した専門医研修ネットワークプログラム作りに取り組むに至った。

2 プログラムの作成

・県東部、中部の研修プログラム…各病院の診療部長を中心に作成(ふじのくに地域医療支援センター東部、中部の支部会議にて病院長合意)
・県西部の研修プログラム…浜松医科大学関連病院を中心に作成
・プログラムの各研修先病院において記載されたものをプログラムリーダーの所属する病院、大学(浜松医科大学)が取りまとめてプログラムを作成
・プログラムの記載内容
(研修カリキュラム、研修例、研修病院群、プログラム終了後の進路等)

3 プログラムの活用

・後期研修医(卒後3年目以降)に、静岡県の病院において充実した研修に取り組んでもらうため、「ふじのくに地域医療支援センター」において提供
・医学修学研修資金(奨学金)利用者の勤務先病院決定の際、本プログラムを活用
・プログラム作成・維持・内容向上のため財政的支援の実施
(後期研修医、指導医の研修支援、研修訓練機器の整備助成等)

(特徴)

1 充実した専門医研修の提供

・プログラム参加者(研修医)のニーズに合わせて、プログラムリーダーの医師等と相談の上、研修先をコーディネート
・専門医資格取得まで、複数の病院をローテーションしながら専門医資格取得に必要な経験(症例、学会発表など)を蓄積
・ひとつの病院では経験できない豊富な臨床研修と医師としての人間関係(ネットワーク)の構築
・プログラムリーダーや指導医により、専門医資格取得後についてもプログラムを構成する病院への勤務のほか、更なるキャリア形成のための勤務等をコーディネート

2 静岡県医師確保対策の充実

・充実した研修環境の提供による県外出身医師の県内定着率の向上(医学修学研修資金の県外利用者のプログラム参加による県内定着)
・全県に渡った複数の病院をローテーションすることによる医師の地域偏在の解消
・現在53プログラム整備
・東中西の各支部の病院訪問、プログラム紹介DVD、ガイドブックでの情報提供による積極的な募集活動(総参加人数58人)

(選定理由)

53のプログラムを地域の先生方が中心になって作っている

県内の複数の病院の指導医が連携してネットワークを組んでいる

各病院のプログラム責任者を構成員として構築することにより、プログラムの質の向上と標準化が図られている

支部を地域の実情が分かっている保健所に置き、地域の病院が自ら専門医を呼び込むようにしている

修学資金貸与者以外の者も広く対象とした魅力あるプログラムを考えられている

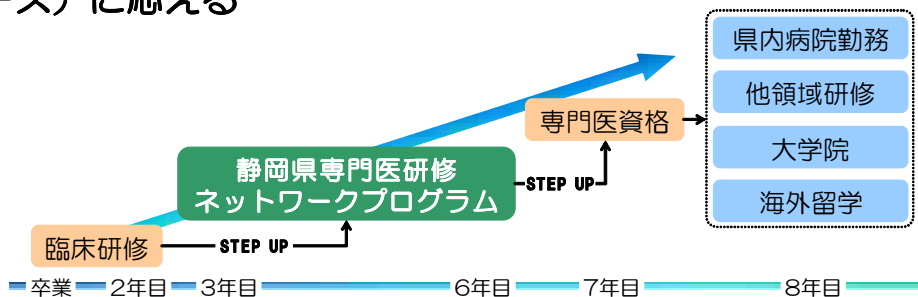
専門医研修ネットワークプログラム

○ 専門医研修ネットワークプログラムの特徴

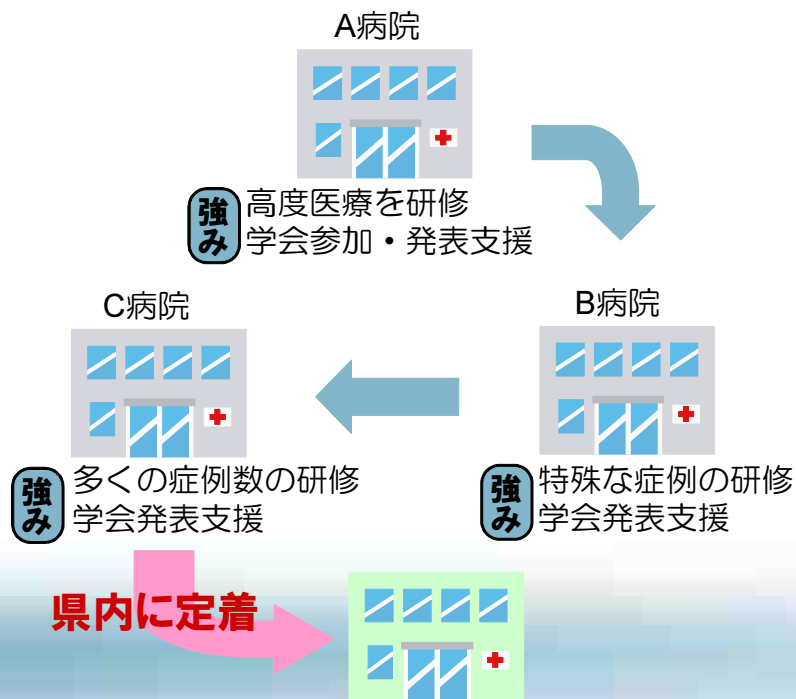
複数の病院の指導医が各々の病院の持つ強みを活かして連携した「専門医研修ネットワークプログラム」を作成し、提供する。

○ 研修医のいろいろな研修ニーズ（キャリアニーズ）に応える

- 「数多くの臨床経験を積みたい」
- 「様々な特徴ある医療をいろいろな病院で経験したい」
- 「多くの医療関係者と人間関係をつくりたい」
- 「出身大学にとらわれず、病院に勤務したい」
- 「出身の静岡県に戻って研修（勤務）したい」 など



○ ローテーション研修のイメージ



○ 取組状況（人数は各年度の新規参加者数）

H22	H23	H24	H25
19プログラム 1人	50プログラム 4人	53プログラム 39人	53プログラム 14人

総参加人数58人

※複数の病院をローテーションし、専門医資格取得を目指す。
 ※勤務条件は、ローテーションする病院の処遇による。

宮崎県 地域総合医育成サテライトセンター運営

(事業概要)

宮崎大学医学部地域医療学講座の診療部門である地域総合医育成センターが、地域医療の実践の場として、県立日南病院にサテライトセンターを設置。(平成25年4月)

急速な高齢化に伴い複数の疾患をもった患者が増加することが予測される中、総合的診療能力を有する医師のニーズがますます高まると考え、総合医の育成を開始。また、医師修学資金貸与者がへき地で義務を果たす際に必要なスキルを身につけさせるための育成拠点となる。

総合医は地域医療に必要な多職種との連携及び住民とのつながりを持ちながら地域包括ケアを実践できる医師。

(特徴)

指導医が3名新たに県立日南病院に加わり、後期研修医1名体制でサテライトセンターがスタート。

他に初期研修医4名も後期研修医とともに研修中。

後期研修医は、2年間の育成プログラムを修了した後、地域医療支援機構の配置調整のもと地域の医療機関で勤務する。ただし、数年の勤務の後はキャリアアップのために県立宮崎病院等の高度医療機関で勤務する。

地域の医療機関と県立宮崎病院等をローテーションしながら医師としてのキャリアを積み上げる。

その結果、自治医卒医との連携も可能となり、地域医療の充実が図られる。

地域医療支援機構は、これらの取組を全面的に支援することにより、医師不足病院等の支援を行う。

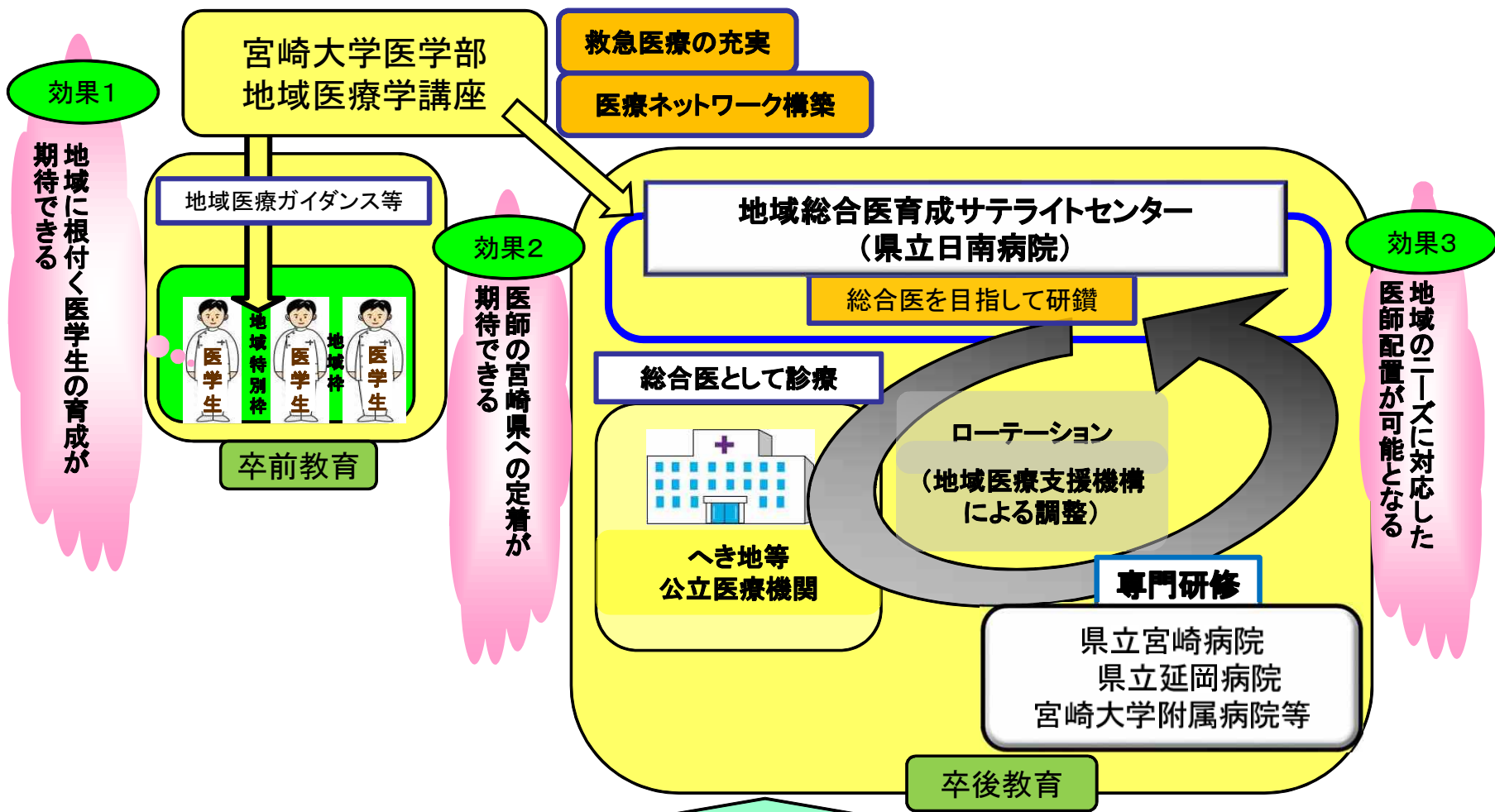
(選定理由(抜粋))

総合医養成のためにサテライトを設置することで地域医療確保につながっている

大学と県立病院とのタイアップで、総合医の育成を目指している

へき地勤務におけるキャリア形成のモデルケースとして参考となった

宮崎県地域医療支援機構の担う役割



宮崎県地域医療支援機構の支援

- ・医学生支援
- ・研修医確保支援
- ・キャリア支援
- ・医師配置調整支援

岐阜県 医師育成(地域医療機関への派遣)

(事業概要)

・効果的な初期臨床研修の実施と後期研修医等の育成のために岐阜大学医学部、同附属病院や研修医等が多く集まる県内各圏域を代表する8病院が構成(=幹事)病院となって、「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」(岐阜県における地域医療支援センター)を設立(2010年9月)。
・岐阜県医学生修学資金受給医師(第1種=地域枠および第2種)の義務年限のルールに基づき、所属医局や指導医によるキャリアパス作成をコンソーシアムが支援するとともにキャリア管理・記録を行う。
・医師不足圏域医療機関に医師を派遣するのみならず、指導者も派遣するシステムを構築し、またコンソーシアム主催で臨床研修指導医養成講習会を定期的に開催し、指導・育成体制を確立することで医師確保につなげる体制を整備。

(特徴)

・研修医や義務年限医師が、「岐阜県内の病院で勤務すれば自分自身が成長できる」という実感を得られるような(ドロップアウトも少なくなる)指導・医師育成体制の確立なくして医師確保はできない、との基本理念に基づいて体制整備した。
・コンソーシアムという岐阜大学主導でも岐阜県主導でもない中性的な体制を取ることで、この基本理念を岐阜県内病院のすべての指導者が共有できるとともに、岐阜大学関連病院のみならず名古屋大学・名古屋市立大学等県外大学関連病院とも一丸となった育成システムを提供できる。
・指導医派遣システムや臨床研修指導医養成講習会の開催などを通じて、構成病院以外の医師不足病院でも医師育成ができる=医師派遣を受けることができる体制をもてるよう配慮している。
・初期臨床研修2年次の地域医療研修を、都市部の医師数が比較的充足している病院の研修医が、地域の医師不足病院とその周辺の診療所などで策定される地域医療研修プログラムを選択できる体制をコンソーシアムがコーディネートし、研修医が患者の診療動線に寄り添った真の地域医療を体験できるとともに、派遣元病院と派遣先病院の連携体制強化に寄与している。
・岐阜県内病院の医師派遣は、現状でもほとんどが大学医局人事の体制で継続しており、今までどおりの医局人事・医師派遣のシステムを崩さず、しかも義務年限のルールに従ったキャリアパス策定を医局人事担当者に説明を尽くすことに注力している。これは岐阜大学のみならず、他県大学医局の医師派遣システムでも同様である。
・コンソーシアムは実際のキャリアパス策定にあたっては、医師本人の意向を踏まえ、医局および指導医と連携しながら、ルールを遵守したキャリアパス策定支援および管理・記録を行う。
・コンソーシアム事務局を岐阜大学医学部附属地域医療医学センター(Center for Regional Medicine:CRM)に置くことによって、岐阜大学医学部医学科学生卒前～卒後のシームレスな育成体制構築に役立っている。さらに、他県大学、岐阜県、医師会、病院協会、地域医療振興協会、全国地域医療教育協議会などとの風通し良い連携実現につながっている。
・今後の課題は、さらにこの体制および理念を岐阜県内の医師以外にも含めたすべての医療従事者に浸透させるための情報共有への努力を継続するとともに、今後毎年30～40名ずつの義務年限医師の育成・確保を支える事務職員の増員などが挙げられる。

(選定理由(抜粋))

医師会等含め、全県で対応する体制づくり(コンソーシアム化)を行っている
修学資金受給者を確実に地域の医療機関に派遣する仕組みとなっている
プログラム参加者が、実感・安心感がもてるのは良い

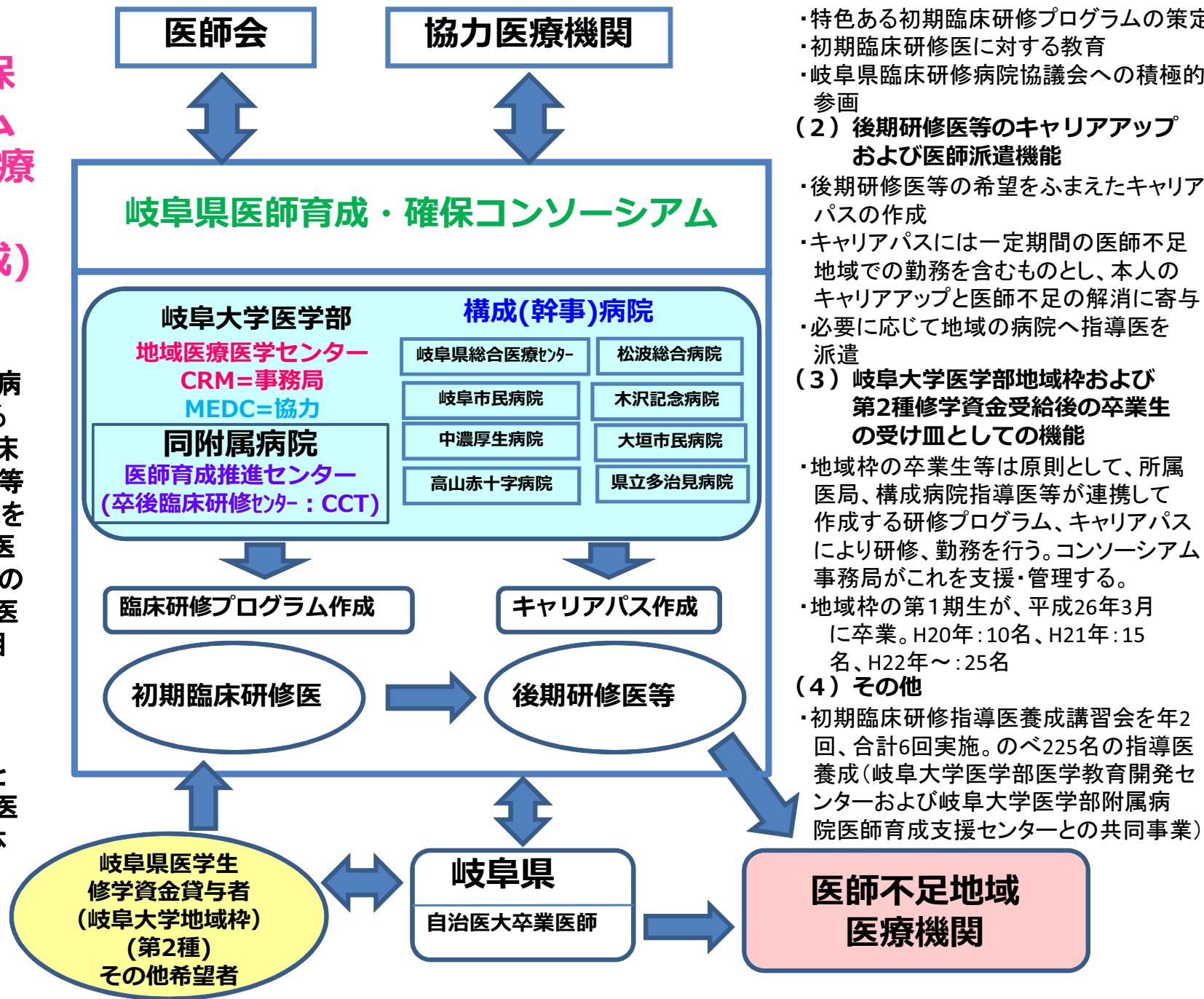
**岐阜県
医師育成・確保
コンソーシアム
= 岐阜県地域医療
支援センター
(H22年9月結成)**

【目的】

岐阜大学医学部、同附属病院と研修医等が多く集まる病院が、効果的な初期臨床研修の実施と後期研修医等を育成するコンソーシアムを組織し、県内の臨床研修医の増加と医師不足地域への派遣により岐阜県の地域医療の確保に資することを目的とする。

【主な機能】

医師会や協力医療機関との連携のもとに、岐阜県医学生修学資金制度と一体的に運用



- (1) 初期臨床研修医の教育研修機能
 - ・特色ある初期臨床研修プログラムの策定
 - ・初期臨床研修医に対する教育
 - ・岐阜県臨床研修病院協議会への積極的参画
- (2) 後期研修医等のキャリアアップおよび医師派遣機能
 - ・後期研修医等の希望をふまえたキャリアパスの作成
 - ・キャリアパスには一定期間の医師不足地域での勤務を含むものとし、本人のキャリアアップと医師不足の解消に寄与
 - ・必要に応じて地域の病院へ指導医を派遣
- (3) 岐阜大学医学部地域枠および第2種修学資金受給後の卒業生の受け皿としての機能
 - ・地域枠の卒業生等は原則として、所属医局、構成病院指導医等が連携して作成する研修プログラム、キャリアパスにより研修、勤務を行う。コンソーシアム事務局がこれを支援・管理する。
 - ・地域枠の第1期生が、平成26年3月に卒業。H20年:10名、H21年:15名、H22年~:25名
- (4) その他
 - ・初期臨床研修指導医養成講習会を年2回、合計6回実施。のべ225名の指導医養成(岐阜大学医学部医学教育開発センターおよび岐阜大学医学部附属病院医師育成支援センターとの共同事業)

第2種修学資金貸与者卒業後の状況(H25年度)

診療科別

H25年4月1日現在

	脳外	消外	救急	産婦	小児	糖尿病内	総合内	循内	腎内	泌尿	精神	眼	耳鼻	麻酔	皮膚	初期未定	合計
人数	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	18	37

圏域別

圏域	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	中断中	合計
初期研修	12	3	0	0	3	0	18
指定勤務	9	1	2	1	2	1	16
指定明け	2	0	1	0	0	0	3
合計	23	4	3	1	5	1	37

卒業大学

	岐阜	浜医	名古屋	福井	愛媛	大分	宮崎	合計
人数	29	1	1	1	3	1	1	37

千葉県 千葉県医師キャリアアップ就職支援センター医療技術研修事業

(事業概要)

医師不足の解消のためには、「よりよい研修を重ねる中で若手医師に千葉県での就職を選択してもらう」「千葉県内でキャリアアップをしていく」ことができる環境整備が必要と考え、平成23年12月に、千葉大学医学部附属病院内に千葉県医師キャリアアップ・就職支援センターを開設した。センターでは、最先端のシミュレーターを活用して内視鏡トレーニングや動物を用いた外科手術基本手技など多様な医療技術研修を展開し、これまでに県内医療機関の医療従事者400名以上がセミナーに参加している。医療専門職を対象に系統だったシミュレーション診療技能教育を実施することで医療の安全性を実現することはもとより、女性医師等の復職支援や地域医療に従事している期間の医療技術のスキルアップにも寄与すると期待している。

セミナーは地域偏在解消を直接の目的とする訳ではないが、地域枠医師等の地域医療に従事する医師が研修環境の十分でない医療機関で従事する期間でもスキルアップが図れるようなり、センター事業の一環としている。

(特徴)

千葉県医師キャリアアップ・就職支援センターは規模と内容において全国有数の施設となっており、医師だけでなく看護師やリハビリテーションスタッフ、薬剤師などのスタッフにも門戸を開放し、各種技術研修を開催している。医療技術研修は、センターの運営を委託されたNPO法人が内容の企画から講師の調整、参加者の募集といった一切を担い、参加する医師や医療機関からのリクエストにもフレキシブルに対応している。NPO法人による運営の利点としては、診療科や医療機関の立場を越えた意見の集約ができる点、専属スタッフによるノウハウの蓄積及び業務の効率化ができる点が挙げられる。

(選定理由(抜粋))

病院ではなくセンターにシミュレーション機器を設置し、県内すべての医師が活用できることが効率的
シミュレーション機器等を用いた研修の提供をすることで医師の技術的な質を担保できている
Uターン医師や女性医師の復職支援につなげている
へき地においても先端技術を学べることが不安感の解消に繋がり、定着に結びつく



千葉県地域医療支援センターの取り組み

千葉県地域医療支援センターは、千葉県とNPO法人 千葉医師研修支援ネットワークが協力し、千葉県内の医師不足解消と医師のキャリアアップ支援のために4つの取り組みを行っています。

01 医師不足状況等の把握・分析

医師長期需要予測調査の実施

県では、高度・専門医療機関や連携病院（後方支援・2次救急など）の機能強化、医療人材の育成等を図るため、三次医療圏（県全体）を対象とした地域医療再生計画を策定し、国からの「平成23年度地域医療再生臨時特例交付金」66億2,766万1千円を活用し、同計画に掲げる事業を実施していきます。



03 医師不足病院のバックアップ

千葉県医師修学資金貸付制度（地域枠医師）

医学を学ぶ大学生の方を対象に、将来、千葉県で医師として働いていただくことを目的とした修学資金貸付制度を実施しています。この制度を活用した医学生のみなさんには、将来の千葉県の医療を担う立派な医師となって、県内各地で活躍していただくことを期待しています。

自治体病院医師確保研修資金等貸付制度

千葉県内の臨床研修病院で初期・後期研修を受けている医師、初期臨床研修を修了した後、県内の大学院で修学している医師に対して、月額20万円の研修資金を貸与し、研修修了後、知事の指定する自治体病院での一定期間（貸与期間に相当する期間）の勤務を条件としてその返還を免除する制度です。

千葉県ドクターバンク事業

医師の偏在や不足に対処するため、将来地域で活躍する医師を志す医学生や研修医に向けて、「千葉県ドクターバンク」を開設し、千葉県の地域医療に関する各種情報を提供するとともに、ご希望に応じて県内の医療機関を紹介するなど、就任まで徹底的にサポートするシステムを構築しました。

<https://www.chiba-dr-bank.org/>



02 医師のキャリア形成支援

臨床研修病院合同セミナーの開催

毎年全国の5年生以下の医学生を対象に県内の臨床研修病院に関する合同説明会を開催しています。セミナーでは、各臨床研修病院がブースを出展し、指導医や先輩医師等病院関係者から直接話を聞ける個別面談等を実施します。

千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター医療技術研修事業

千葉県では、千葉大学医学部内に「千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター」を平成23年12月に設置（約1,300㎡）、その運営をNPO法人千葉医師研修支援ネットワークに委託し、シミュレーション機器等を用いた医療技術研修の提供及び医師の県内病院への就職・定着支援を行っています。

総合診療医・家庭医養成事業

NPO法人千葉医師研修支援ネットワークとともに、県内の医療機関と総合診療医・家庭医のネットワークを立ち上げ、総合診療医・家庭医に関する研修会開催、今後の千葉県内のプログラム連携のあり方等の協議・検討等を行っています。また、総合診療医の育成に取り組む医療機関を支援するため総合診療医養成環境整備事業等を行っています。



04 情報発信と相談への的確な対応

ホームページによる情報発信



当センターのホームページでの活動紹介のほか、県内医療機関における医療人材育成や就職を希望する医師・研修医の支援等のために、「千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター」を、平成23年12月千葉大学医学部附属病院内にオープンし、ホームページからさまざまな情報を発信しています。

<https://www.dcs-net.org/center/>

女性医師等就業支援相談窓口事業

出産・育児等でしばらく就業していなかった女性医師や、退職された医師で職場復帰を考えている医師に対して、業務に関する知識や技能等を習得できるようサポートします。

<https://www.chiba-wssoudan.org/>



千葉県地域医療支援センター (千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター含む)

目的

- 医師確保対策事業の総合的な推進
- 医師の地域偏在解消(医師不足病院への支援)
- 地域医療を志す医学生への支援、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援

組織

- 【センター長】 県保健医療担当部長
- 【副センター長】 県医療整備課長、千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター長
- 【キャリアコーディネータ】 千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター副センター長

運営委員会

- ・センターの運営方針及び事業内容の検討
- ・医師不足状況等の把握・分析
- ・キャリア形成支援のための有効な方策の検討

医師修学資金受給者配属先選定会議

- ・修学資金受給者の配置基準の検討
- ・修学生への卒前教育(地域医療)
- ・医師のキャリア形成支援

事業

1. 医師不足状況等の把握・分析

医師長期需要予測調査の実施

2. 医師不足病院の支援

千葉県医師修学資金(地域枠医師)

自治体病院医師確保研修資金貸付制度

千葉県ドクターバンク事業

凡例

本部

キャリアアップセンター事業

3. 医師等のキャリア形成支援

臨床研修病院合同セミナーの開催

医療技術研修事業

総合診療医・家庭医養成事業

4. 情報発信と相談等への対応

ホームページによる情報発信

女性医師等就業支援相談窓口事業

関係図

医療対策部会

運営・事業に関する意見

大学

修学生の配置先への意見

地域医療支援センター

支援

医師不足病院

キャリア形成等に関する支援

修学生・医師